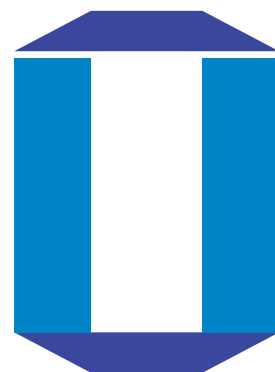


岡山大学

歯学部

OKAYAMA UNIVERSITY
DENTAL SCHOOL

● 歯学科



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2027年度 学部案内

地域社会・ そして世界を 俯瞰する

Contents

学部長挨拶	3
沿革	4
アドミッションポリシー	5
カリキュラム	6
グローバル教育／自由研究演習	9
卒業後の進路	10
卒後臨床研修センター	10
大学院	11
活躍する先輩たち	12
研究室紹介	13
サークル紹介	16
わたしの岡大ライフ	18
キャンパス紹介	20
病院紹介	22



医歯薬連携とデジタル歯科医療で、 未来の歯科医療を担う人材を育てる

歯科医療は、単に歯を治す医療ではありません。口腔の健康は、食べること、話すこと、そして全身の健康とも深く関わっています。高齢化が進む現代社会において、歯科医療は人々の生活の質（QOL）を支える重要な役割を担っています。そのため歯科医師には、高度な専門知識と臨床技術に加え、医療チームの一員として多職種と協働できる力、さらに新しい医療技術に対応できる柔軟な力が求められています。

岡山大学歯学部の大きな特徴は、医学部・歯学部・薬学部が連携する教育環境にあります。学生の段階から医師や薬剤師などを目指す学生とともに学び、チーム医療の重要性を理解しながら歯科医療の専門性を高めていきます。また、課題解決型学習（PBL）やアクティブラーニングを取り入れ、知識を身につけるだけでなく、自ら考え、仲間と議論しながら問題を解決する力を育てています。

臨床教育は、岡山大学病院において行われます。大学病院には地域の歯科医院では経験する機会の少ない高度な治療や専門的な症例も多く集まり、学生は多様な患者さんと向き合いながら実践的な歯科医療を学びます。また近年、歯科医療はAI（人工知能）やデジタル技術の進歩により大きく変化しています。口腔内スキャナーによるデジタル印象、三次元画像による診断、CAD/CAMによる各種装置の製作など、デジタ

ルデンティストリーは次世代の歯科医療を支える重要な技術となっています。本学ではこうした新しい技術を教育の中に取り入れ、未来の歯科医療を担う歯科医師の育成を進めています。

さらに岡山大学歯学部では、歯科医療の未来を切り拓く研究にも力を入れています。再生医療や新しい歯科材料の開発、骨や顔面の成長発育の研究など、医学・薬学・工学と連携した多様な研究が行われており、学生が研究に触れる機会も豊富にあります。研究に興味を持つ学生はぜひとも大学院へ進学し、臨床と研究の両方に挑戦してくれることを願っています。

国際交流も本学の特色の一つです。短期海外留学制度ODAPUSでは20年以上の歴史をもち、海外へ派遣した学生および海外から受け入れた学生は、それぞれ250名を越えております。海外の大学で学ぶ機会ならびに、海外からの留学生との交流を通して国際的な視野を広げることができます。

岡山大学歯学部は、地域社会に貢献する歯科医師の育成はもちろん、世界を舞台に活躍できる歯科医療人の育成を目指しています。皆さんが本学で多くの仲間と出会い、学び、成長しながら、自らの可能性を大きく広げていくことを心から期待しています。歯科医療の未来を担う皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

歯学部長
上岡 寛

明日の医療における歯科医療を

全身と心の健康に満ちた生活を支えるための口腔機能を追求する
歯科医師や研究者を育成します。

沿革

学部

昭和52年 4月 歯学部創設準備室を設置
昭和54年10月 岡山大学歯学部を設置
昭和55年 4月 歯学部第一期生受入[入学定員 80人]
昭和56年12月 歯学部校舎および附属病院棟新営工事竣工
昭和57年 4月 歯学部専門課程の授業開始
昭和59年 4月 18講座を設置完了
昭和63年 4月 入学定員 60人となる／大学院歯学研究科を設置
平成12年 4月 入学定員 55人となる
平成13年 4月 大学院医歯学総合研究科[博士課程]を設置
歯科麻酔学分野を設置(現 歯科麻酔・特別支援歯学分野)
歯学部学士入学第一期生受入[3年次編入:入学定員 5人]
大学院医歯学総合研究科[修士課程]を設置
平成14年 4月 国立大学法人岡山大学へ移行
平成15年 4月 大学院医歯薬学総合研究科[博士課程・修士課程]を設置
平成16年 4月 総合歯科学分野を設置
平成17年 4月 入学定員 48人となる
平成19年 4月 先端領域研究センターを設立
平成23年 4月 国際パカロレア入試を開始
平成26年 6月 歯学教育・国際交流推進センターを設置
平成26年 8月 歯学部学士入学編入年次変更[2年次編入]
平成27年 4月 応用情報歯学分野を設置
平成28年 4月 大学院医歯薬学総合研究科[博士課程]を改組
平成29年 9月 応用情報歯学分野から先端国際情報歯学分野に名称変更
令和 5年 4月
令和 7年12月

病院

昭和55年 4月 歯学部附属病院創設準備室を設置
昭和57年 4月 附属病院棟新営工事竣工、歯学部附属病院を設置、診療開始[7科、20病床]
昭和58年 4月 診療科増加[9科]、病床数増床[40床]
昭和59年 4月 診療科増加[10科]
平成 5年 4月 診療科増加[11科]
平成 7年11月 特殊歯科総合治療部[院内措置]を設置
平成13年 4月 特殊歯科総合治療部[省令措置]および地域医療支援室[院内措置]を設置
平成14年 2月 口腔インプラント外来および顎関節症・口腔顔面痛み外来を設置
平成14年12月 卒後臨床研修センターを設置[院内措置]
平成15年 4月 審美歯科外来を設置
平成15年10月 歯学部附属病院と医学部附属病院を統合、医学部・歯学部附属病院を設置
平成16年 4月 国立大学法人岡山大学へ移行
平成19年 1月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称[医療法上]
平成21年 4月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称[組織上]
平成22年12月 特殊歯科総合治療部を廃止、スペシャルニーズ歯科センターと医療支援歯科治療部を設置
平成25年 1月 口腔検査・診断センターを設置
平成27年 5月 口唇裂・口蓋裂総合治療センターを設置
平成29年 5月 侵襲性歯周炎センターを設置
平成30年10月 デンタルインプラントセンターを設置
令和 3年 3月 歯科系診療科を4診療科[歯科、口腔外科、矯正歯科、小児歯科]に改編し、歯科の中に8歯科系部門[総合歯科部門、保存歯科部門、歯周科部門、口腔インプラント科部門、補綴歯科部門、予防歯科部門、歯科放射線科部門、歯科麻酔科部門]、口腔外科の中に2歯科系部門[顎口腔再建外科部門、口腔顎顔面外科部門]を設置
令和 5年 3月 お口の健康管理センターを設置

創出しよう！



アドミッションポリシー

教育の 基本的目標

歯学部は、「国民への高度な歯科医療の提供」と「先進的な歯科医療の研究開発」を重視し、教育・研究を通して世界最高水準の歯科医療人材を育成することを目的としています。これまでの卓越した研究成果と国内外における交流活動の実績を基礎として、歯科医学の発展と課題解決に対する学生の自発的な取り組みと研究マインドの醸成を促します。また、国内外の学生や関係学部の教職員との対話や議論、連携を通じて、高い倫理観を持つ豊かな人間性を形成できるように支援し、地域社会に貢献できる歯科医師を養成するだけでなく、活躍の場を教育職、研究職、行政職、さらには海外に求め、幅広い分野において中核的に活躍し、次世代を担い得る指導的人材の育成を目的とした教育を行います。

求める人材像

歯学部では、歯科医師として国民の健康、福祉・介護に興味を持ち、歯科医学の発展と地域医療、さらには国際医療に貢献したいという明瞭な目的意識を持つ、以下の人材を求めています。

求める力

【実践力】 何事にも興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。

【探究力】 生命科学・健康科学に強い好奇心と知的探究心を持っている。

【コミュニケーション力】

思いやりと高い倫理観を備え、他者への理解と自己表現ができる。

【専門力】 進歩する歯科医学に対応するために必要な基礎学力を持っている。

【教養力】 知的好奇心が旺盛で、学びを継続することができる。

入学前に学習しておくことが期待される内容

歯学部で幅広い歯科医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。また、身につけた知識を応用し、種々の問題や課題解決、成果の社会還元が期待される学問領域ですので、論理的思考を心がけ、向上を目指してください。

大学受験の理科学科として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を習得していることを期待します。外国語の習得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。

※歯学部のアドミッション、ディグリー、カリキュラムの各ポリシーは岡山大学ホームページをご覧ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/education-policies.html>

※推薦型選抜の対象者は、高校卒業見込み、ならびに卒業後2年以内の方となります。

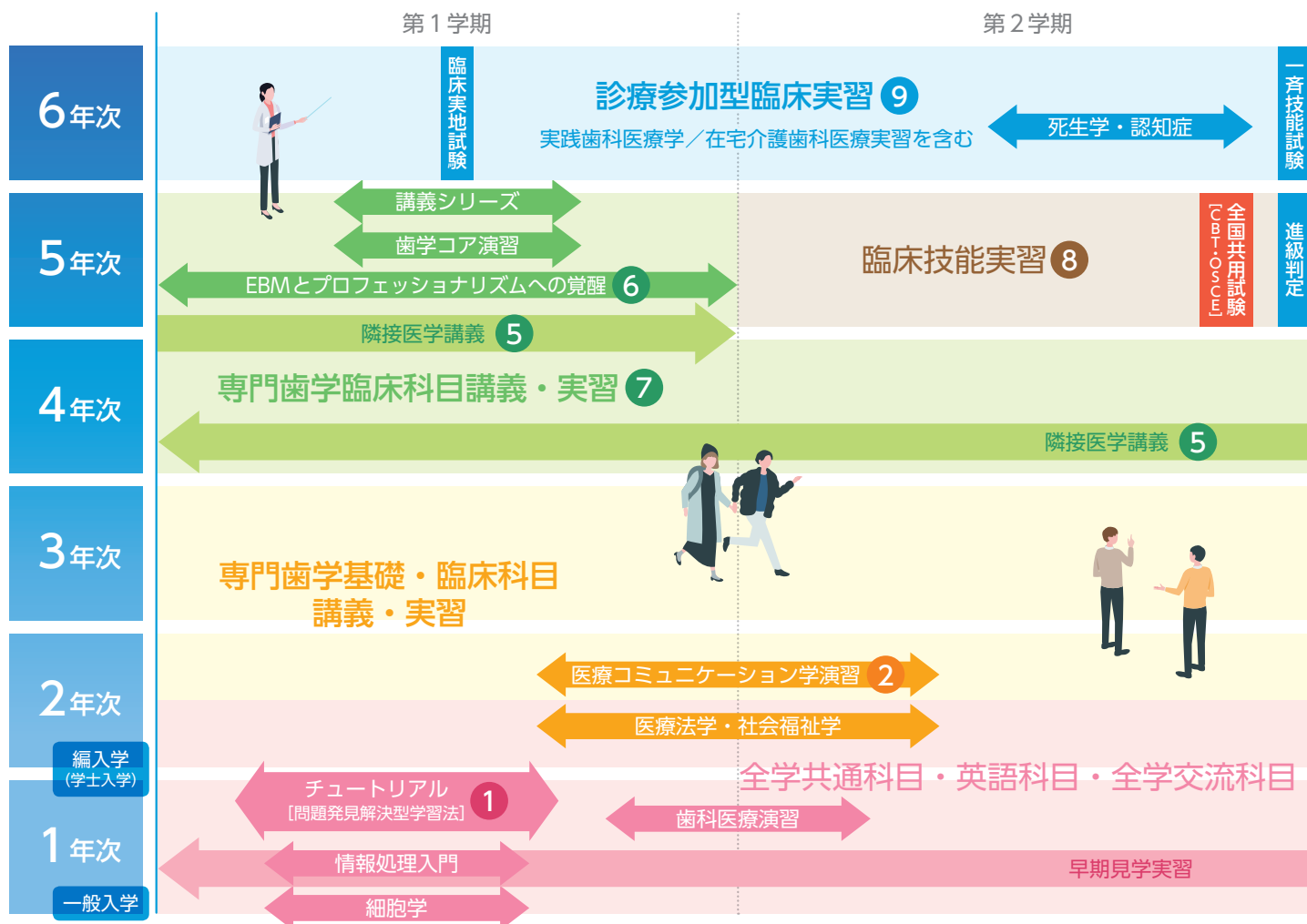
各高校の推薦人数は4名までです。



Curriculum

世界に通じる全人的医療人を育成します

1年次は週に2日、2年次は週に1日津島キャンパスで授業を行います



Point



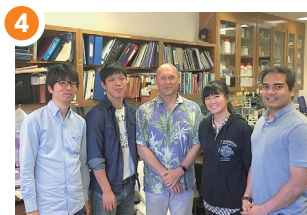
① テーマに沿った話題について、グループごとに討論、発表することで、自己学習能力を習得します。



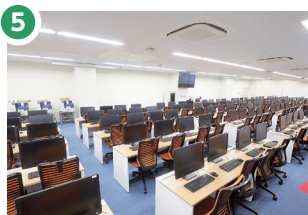
② 対人コミュニケーション実習で得た知識やスキルを活用して、各症例に沿った問題を発見し、グループ討論を行います。



③ 各研究分野において学生が自ら実験やスキルを活用して、科学的視点を身につけます。



④ 海外の大学の聴講生として短期留学し、広い視野を身につけます。



⑤ 岡山大学医学部から講師を招き、臨床医学について学びます。



⑥ プロフェッショナルとして臨床事実に基づく歯科医療を行うための基礎を修得します。



⑦ 病態エックス線像実習
さまざまなエックス線写真を観察・スケッチし、画像診断の基礎となるエックス線正常解剖を学びます。



⑧ 歯科医用工学演習 1
歯科治療や技工物作製に使用する材料や器械・器具について、その所要性質および基本的な操作法を習得します。

合格率 92.2% [全国平均80.2%]

10年平均 89.1%



第3学期

第4学期

総合歯学演習

診療参加型臨床実習 ⑨

実践歯科医療学／在宅介護歯科医療実習を含む

卒業判定

国家試験

臨床研修

大学院進学

リカレント教育

生涯学習

講義シリーズ

歯学コア演習

進級判定

解剖学実習

専門歯学基礎・臨床科目
講義・実習

進級判定

多職種連携とチームワーク

進級判定

人体発生学入門

進級判定

アーリーリサーチエクスポージャー



マネキン患者と想定して、様々な
歯科臨床技術を習得します。



実際の臨床の現場にて、教員の指導のもとで臨床技能と態度を養います。



Check!!

- 学生便覧については
こちらを参照してください。
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/koho/2026-StudentHandbook.pdf>



- 時間割表は歯学部ホームページを
参照してください。



- 詳細および編入学【学士入学】については
歯学部ホームページを参照してください。
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>



専門教育【科目の構成】

- モデル・コア・カリキュラム準拠
[全国共通能力基準をクリア] 60～70%
- 独自のカリキュラム [多彩な能力を修得] 30～40%

オンライン授業

- オンデマンドおよびリアルタイム授業

独自のカリキュラム

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 1 早期見学実習 | 1 年次 [図 1] |
| 2 チュートリアル [問題発見解決型学習法] | 1 年次 [図 2] |
| 3 医療コミュニケーション学演習 | 2 年次 |
| 4 自由研究演習 [研究室配属] または歯学国際交流演習 [ODAPUS] | 3 年次 |
| 5 EBMとプロフェッショナリズムへの覚醒 | 5 年次 |
| 6 在宅介護歯科医療実習 | 6 年次 [図 3] |
| 7 診療参加型臨床実習 | 5・6 年次 [図 4] |



図 1 早期見学実習



図 2 チュートリアル



図 3 在宅介護歯科医療実習



図 4 診療参加型臨床実習

学士課程教育の構築：進化しつづけるカリキュラム

ディグリーポリシー [卒業認定・学位授与の方針] の設定と見直し

カリキュラムポリシー・カリキュラムマップに基づく
体系的カリキュラム編成

自身の可能性を主体的に広げる教育方法

総合大学の特長を活かした教育体系

学生の成長に応じた実践的な教育プログラム

教育内容に合わせた適切な授業形式

実践力、探究力、コミュニケーション力、専門力、教養力を備えた人材の育成

各ポリシー等は、<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/education-policies.html>を参照してください。

キャリアパス説明会



学びと将来をささえる学生支援

園井 教裕 [医療教育センター 歯学教育研究部門 助教] 岡山白陵高等学校卒

歯学部での6年間は、歯科医師としての専門性を身につけるだけでなく、友人や先輩との関わりを通して、将来の進路を考える機会が増えていきます。岡山大学歯学部では、学生一人ひとりが自分らしい将来を思い描きながら学べるよう、学年に応じたサポートを行っています。

2・5年生を対象に実施している「キャリアパス説明会」では、様々な分野で活躍する歯科医師の先生方をお招きし、進路の参考となる講演を聞くことで、自らのキャリアプランについて考えてもらいます。また、5年生を対象とした「キャリアパス相談会」では、教員や医員、大学院生に将来の進路について自由に相談する機会を設け、卒業後のキャリアプランをより明確にイメージしてもらいます。

さらに、各学年には顧問教員がおり、歯科医師国家試験に向けても、面談などを通じた支援を行っています。学生一人ひとりが安心して学び、自分の目標に向かって進んでいけるよう継続的な支援を行います。



グローバル教育／自由研究演習

ODAPUS

ODAPUSとはOkayama University Dental School Short-Term-Study-Abroad Program For Undergraduate Studentsの略称で、本学歯学部生が、海外の大学に聴講生として参加できる短期留学制度です。岡山大学特有の制度で、派遣大学から受講証明書を取得することで単位として認定される選択科目です。現在は、世界各国の有力大学歯学部への留学が可能となっています。

海外研究者によるODAPUSオンラインセミナーを開催

世界的なCOVID-19の流行の煽りを受け、ODAPUSによる国際的な人的交流は一旦停止しました。このような状況下においても、国際マインド維持や国際化推進を持続させるため、リアルタイムのWebセミナーを開催しました。2023年からODAPUSは再開し多くの学生が様々な国に留学しています。また、引き続きWebセミナーを開催しております。これまでに、オハイオ州立大学、ハーバード大学、インドネシア・ハサヌディン大学、メリーランド大学、ウィスコンシン州立大学マディソン校、ルイビル大学などで活躍されている多くの海外研究者とのリアルタイムオンライン交流を行っています。

C o m m e n t

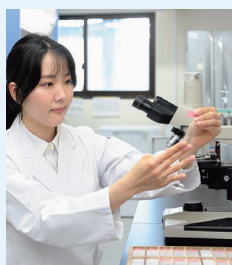
末永 恋菜 4年次生 福山暁の星女子高等学校【広島】出身

チリ・フィニステラ大学にて約2か月間の留学を経験しました。英語が公用語ではない環境に不安もありましたが、現地の方々はとてもフレンドリーで、授業中にも積極的に声をかけてくださり、すぐに馴染むことができました。授業では歯の模型を削って埋めたり、親知らずの抜歯などの手術を見学したり、現地の3年生の学生とのスケーリング実習に参加したりするなど、実践的な内容を多く経験し、今後の学習に大いに役立つ有意義な時間となりました。また、留学中に参加した大学内の国際フードフェスティバルでは日本から持ってきた焼きそばや抹茶を作って販売し、異文化交流の楽しさを実感しました。人の温かさに支えられ、充実した留学生活を送ることができました。

このような貴重で素敵な機会をいただき本当にありがとうございました。



自由研究演習【研究室配属】



田村 唯 4年次生 北摂三田高等学校【兵庫】出身

私は口腔病理学研究室を希望し、「若いマウスでがん研究していいの？加齢に伴う腫瘍組織の変化について」というテーマで研究を行いました。

まず始めに、「がん」と「老化」で起きる現象など、必要な知識を学びました。その後、標本作製から組織染色、結果の解析まで、研究の基本を一から経験させていただきました。仮説を立て、どの手法で組織を染色するか考えることは難しかったです。しかし、最終的には仮説とは異なる興味深い結果が得られ、研究の醍醐味を味わえたと思います。

また、2ヶ月の期間中には、数々の病理診断や、口腔がんの摘出手術と並行した術中迅速診断を見学しました。そこでは、病理診断の実際の手法や、口腔病理と口腔外科の先生が密接に連携されているということを知りました。さらに、学会参加や先生方との交流を通して、将来どのような歯科医師になりたいかを具体的に想像するきっかけにもなり、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

卒業後の進路

研修医センター

充実した歯科医師卒後臨床研修の提供

卒後臨床研修センター 歯科研修部門



卒後臨床研修センター
歯科研修部門長
山本 直史 教授
兵庫県立長田高等学校

歯学部を卒業し、歯科医師国家試験に合格すると歯科医師免許を取得することができます。さらに、歯科医師として活躍するためには、1年以上の臨床研修を受けることが義務付けられています。岡山大学病院の卒後臨床研修センター・歯科研修部門では、1年間の充実した研修を行うことが可能な様々なプログラムを提供しています。

卒後臨床研修の目標は、医療人である歯科医師にとって必要な態度、知識および技能を習得し、生涯研修の第一歩とすることです。当センターでの研修は、研修医自身が主治医としてできるだけ多くの患者を担当することによって、患者背景や全身状態も考慮に入れた総合的な診断能力と、基本的な治療能力を身につけることを方針としています。研修内容は、歯科医療の基礎となる一般歯科治療の通年研修に加えて、口腔外科や矯正歯科などの専門外来や、医科と連携した医療支援歯科治療部など大学病院ならではの多様な研修があります。また、研修終了後に、専門医や博士号取得コースへ進むことも可能です。

卒後臨床研修は、その後のキャリア形成に非常に重要な経験です。若手歯科医師の皆さんのチャレンジを我々がしっかり後押しすることをお約束します。



歯科医師養成の流れ



大学院

医・歯・薬の3学系が連携して次世代の健康科学を開拓する

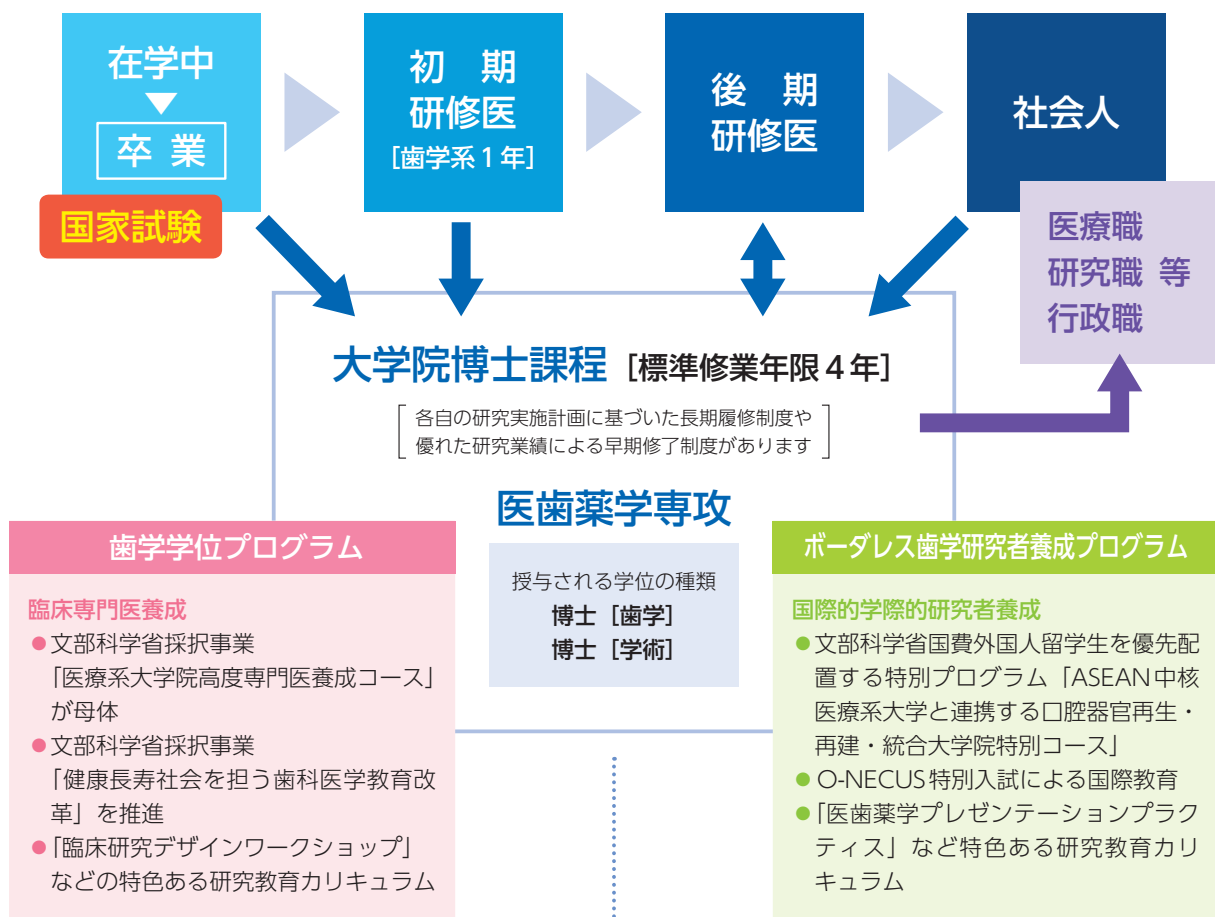
大学院 医歯薬学総合研究科



大学院では、海外からの留学生、あらゆる学部の卒業生、社会人として活躍中の人々が、今までの歯科医学の枠を超えた斬新な視点から日夜研究を進め、健康科学の明日を導く旗手として世界中の注目を浴びています。

令和5年度からは専攻を一本化し、新たな学位プログラムが始動しています。

多様化する社会の要請に応える工夫された課程



臨床技術や臨床決断能力を教育し臨床を真剣に科学する

歯学学位プログラムは、各学会の専門医制度と同調しながら、学生の臨床能力（知識、技術、態度）を博士（歯学）にふさわしいレベルにまで向上させ、国民が求める医療の質を担保することを目的としたプログラムです。臨床を科学する本プログラムでは、臨床の現場に立ち、臨床現場における問題点を見出し、それらを解決するプロセスを学ぶことで、臨床エビデンスをひもとく方法を習得します。

現在、多くの大学院生が本プログラムで学び、高度な技術を持った専門医を目指しています。日本では歯科臨床専門医のニーズが日に日に高まっています。

ボーダレス歯学研究者プログラムは、国境（国のボーダー）を乗り越えて活躍できる研究者を養成するため、我が国やアジアを中心に若き頭脳を結集し、歯学のパラダイム（学問的ボーダー）を超えた発展をもたらす人材を養成することを目的に設置されました。

すでに中国、ベトナム、インドなどから集結した大学院生が、国内からの院生とともに未来の歯学研究を開拓すべく、日々切磋琢磨しています。

岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科ホームページ
<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/>



活躍する先輩たち

岡山大学歯学部卒業者は、さまざまな分野で活躍しています



平成18年卒業 **入江 浩一郎**
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
口腔保健学分野 教授

2025年より長崎大学に赴任し、五島コホートに代表される地域に根ざした教育・研究・臨床に携わっています。口腔の健康は全身の健康や健康寿命の延伸に深く関わっており、その重要性を日々実感しています。現在の私の土台には、岡山大学歯学部での学びがあります。学生時代に得た知識や経験、先生方や仲間との出会いが、今の自分に繋がっています。皆さんも岡山大学での学びを大切に、かけがえのない学生生活を送ってください。それらが将来の自分らしい道を切り拓く力になるはずです。



平成8年卒業 **西谷 佳浩**
鹿児島大学病院 副病院長[歯科総括]
鹿児島大学歯学部 副学部長
鹿児島大学学術研究院医歯学域歯学系
歯科保存学分野 教授

岡山大学歯学部を卒業後、岡山大学大学院に進学して歯科保存修復学分野に入局しました。保存治療に欠かせない新しい歯科材料の開発に興味があったので、大学院の時から現在まで夢を追いかける日々を送っています。大学生活を通して出会う国内外のたくさんの方々とは日々交流が続いており、大学で働くことの楽しさの一つになっています。皆さんも岡山大学で自分が興味を持てることに邁進して、夢を追いかけてください。皆さんが活躍される姿を拝見できることを楽しみにしています。



平成8年卒業 **恒石 美登里**
国立保健医療科学院 統括研究官
[歯科口腔保健研究分野]

日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構において主任研究員を務めたあと、令和8年4月より国立保健医療科学院の統括研究官に着任いたしました。微力ではありますが、国民の公衆衛生の向上とともに健康な口腔及び生活を確保できるよう貢献したいと思います。岡山大学歯学部の学生生活をぜひ楽しんでください！



平成元年卒業 **山本 龍生**
神奈川歯科大学 副学長
歯学部社会歯科学系社会歯科学講座
口腔衛生学分野 教授

2009年に岡山大学から神奈川歯科大学に赴任いたしました。岡山大学病院予防歯科で経験した歯科疾患予防を、国や国際社会の政策に結びつけ、「一生自分の歯で食べられる社会」を実現するために教育と研究を行っています。歯科医師の活躍の場は、臨床だけでなく、WHO、厚生労働省、都道府県などの行政機関もあります。歯科保健医療の政策に関わる歯科医師が増えることを願っています。



平成19年卒業 **堀内 美希**
濱桜法律事務所 代表

卒業後、大阪大学法科大学院に進学し、弁護士となりました。日本の医療研究の加速に貢献したいと考え、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）に10年間勤務し、現在は弁護士として歯科医院向け法律顧問業務や紛争解決の業務を取り扱っています。歯学部時代の、研究補助や留学生との交流といった経験や、互いに切磋琢磨できた環境は、かけがえのない私の宝物です。後輩になられる皆さんも存分に学生生活を謳歌してください。皆さんのご活躍を応援しています！



平成7年卒業 **加来 真人**
広島大学大学院医系科学研究科
生体構造・機能修復学 教授

岡山大学歯学部を卒業し、現在は広島大学で歯科技工士の育成を行っています。専門は矯正歯科で、歯並びや顔貌が改善されて、患者さんが喜んでくれることが大きな励みとなっています。歯科医療は患者さんのお口と全身の健康を守るやりがいのあるお仕事です。ぜひ岡山大学歯学部で学んでいただき、患者さんに寄り添える歯科医師となって活躍してください。

同窓会のご案内



歯学部同窓会長 **明貝 文夫** 平成元年卒業

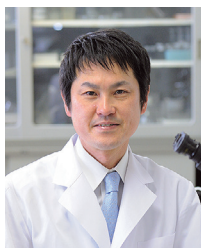
大学と同窓会は車輪の両輪。連携と協調を礎に活動しています。入学後は学生会員として、卒業後は正会員として同窓会に全員入会します。日本各地の同窓会県支部・地区支部が同窓生をサポートします。同窓会は、奨学金制度など在校生の福利・厚生も支援しています。

研究室紹介

口腔形態学

骨や歯を形づくる 細胞・組織の美しさを知る

形態学あるいは解剖学は、形・構造に着目して生体の営みを解明する生命科学の基礎をなす学問です。教育では、歯や歯周組織を含む全身の細胞・組織の微細構造と機能について講義と顕微鏡実習を担当します。研究では、骨や歯を構成する細胞・組織の発生メカニズムおよびホルモンや機械的刺激への応答について、光学顕微鏡・電子顕微鏡や最新の分子生物学的手法を用いて解析しています。骨や歯を中心とした細胞・組織の営みをミクロの眼で探求し、歯科領域疾患の病因解明や治療法開発の基礎を築くことを目指しています。



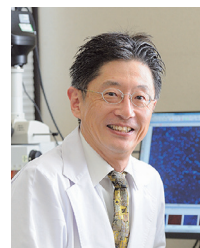
岡村 裕彦 教授
三重県立宇治山田高等学校



口腔機能解剖学

先端歯科治療ナビゲーション システム脳をつくる

先端治療に挑戦する歯科医師は、治療において常に、切らんとする粘膜の下、削らんとする骨の向こうに何があるのか、損傷した場合何が起こり、どう処置すれば良いのか、回避のためにどう改変するか、全て即座に直結し対処できる想像力と論理的思考能力がなければ、治療ではなくただの傷害行為となり、治療する資格がありません。□って何？に始まり、□顎顔面の機能の基礎知識、構成する諸器官の3次元構築と破格・個性差を応用した治療のガイド、応急処置、救急救命に至るまで、トピックスの作成に貢献する歯科解剖学を目指しています。



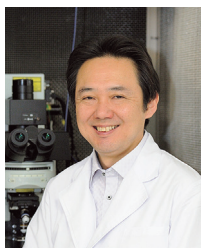
沢 禎彦 教授
北海道札幌西高等学校



口腔生理学

口腔機能の解明から 全身健康を紐解く

我々の体は様々な器官・臓器から構成され、また各器官は様々な細胞から構成されます。生理学では、分子、細胞、器官、個体レベルでの機能を追求するとともに、それらを統合するシステムも重要な研究対象です。当分野では、全身及び口腔に関する多彩な機能とその土台となる様々な機構を理解するための講義・実習を行っています。研究では、口腔機能としての味覚や唾液、摂食に関わる神経機構などを分子レベルから個体レベルに至るまで追求し、その理解に基づいた健康増進のための新たな方策を模索していきます。



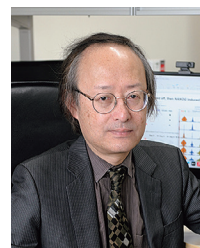
吉田 竜介 教授
京都府立八幡高等学校



口腔生化学

生命分子のネットワークを解明し 次世代の歯科医療に道を拓く

現代の生化学はゲノムサイエンスにまで広がる広大無辺な学問です。当分野では皆さんに生命の分子基盤とともに、歯科医療に特化した生化学を学べる講義を提供します。また、能動的学習プログラムである演習や、DNA診断、遺伝子操作が体験できる実習も用意しています。研究面では世界有数のCCNファミリー分子研究の拠点として、グローバルに研究を続けています。この分子は生体分子をネットワーク的に操縦線維症、癌などの難病に深く関わる重要分子で、再生医療への応用も期待されています。



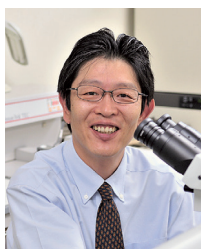
久保田 聡 教授
ヴィアトル学園洛星高等学校



口腔病理学

疾患を診る・病気の原因と メカニズムの解明を目指す

人間は多種多様な病気に罹患しますが、病気の原因（病因）、病気の成り立ちと経過（病態）を知ることなしに治療は不可能です。病理学とは疾患の病因と病態を探究する学問で、患者が罹患している病気の診断（病理診断）を行う重要な役割を担っています。講義では身体に生じる様々な疾患について学び、実習では顕微鏡を用いて病変部組織を観察し理解を深めます。研究では口腔腫瘍の病態メカニズムの解明と口腔組織の再生に取り組んでいます。組織形態学と分子生物学的手法を元に幹細胞を用いた組織再生、腫瘍病態の研究を進めています。



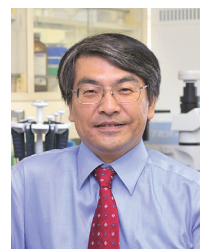
長塚 仁 教授
開成学園高等学校



口腔微生物学

微生物の脅威と対峙する

我々は多くの微生物に囲まれています。有益なものもあれば、病原体として感染症を起こすものもあります。歯科領域の代表的な感染症はう蝕や歯周病ですが、他にも幾つもの感染症が存在し、全身に影響を及ぼすこともあります。当分野では病原体を中心にウイルス、細菌、真菌などの微生物、それらから体を守る免疫などの防御機構、感染症が生じるしくみに関する講義や実習を担当します。そして病原体の検出法や感染症の診断法の確立、抗微生物薬の開発、またワクチンを始めとする予防法の開発を目指した幅広い研究を行っています。



大原 直也 教授
大阪府立市岡高等学校



Check!!



岡山大学大学院
医歯薬学総合科学研究科



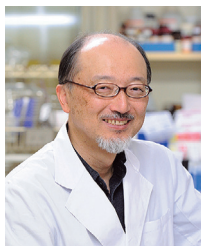
岡山大学病院



歯科薬理学

癌から骨疾患まで、新薬創出を目指す！

薬理学は、薬物が生体へ及ぼす影響や効果を「薬の理（ことわり）」として分子レベルから個体レベルまで総合的に明らかにし、薬物療法の科学的な基盤を成す学問領域です。当分野では、将来、歯科医師として活躍するために必要な薬物療法の基礎知識だけでなく、医療現場で自らの確に判断し、安心・安全な薬物治療を提供できる歯科医師の育成を重視して教育に当たっています。また、癌や口腔領域における様々な疾患に対する新たな治療戦略の確立を目指した基礎医学研究および創薬研究を進めています。



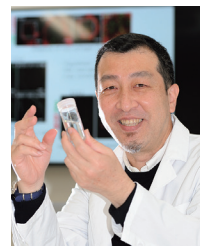
岡元 邦彰 教授
宮崎県立宮崎西高等学校



生体材料学

未来の歯科医療を見据え、新しい材料、技術を創る

生体材料学分野では、歯科医療において重要な役割を担う医用材料、医用技術の開発を行っています。逆の観点でいうならば、新しい材料や技術を開発することで、新しい歯科医療を創ることができます。近年、材料工学に機械工学、電子工学、細胞生物学、分子生物学など様々な学問、知識を組み合わせることが進んでいます。その結果、これまでにない次世代の材料、技術の創出機運が高まっています。一緒に新しい歯科医療を創り、世界中の人々の幸せに貢献してみませんか？



松本 卓也 教授
高槻高等学校



先端国際情報歯学

世界とつながり、未来の歯学を共創する

デジタル社会の急速な進展に伴い、歯学を含む医療全般は今大きな変革の時代を迎えています。AIやビッグデータ、最先端のバイオ・工学技術を融合することで、これまで困難であった再生医療や早期診断が現実のものとなりつつあります。その一方で、ヘルスケアを取り巻く課題や、それに対する解決策は世界各地域によって多様です。私たちは、こういった最新技術と自由な発想にもとづき、世界の大学や研究機関と連携し、多文化的・学際的な環境の中で探究を進めながら、未来の歯学を共創することに取り組んでいます。



HARA EMILIO SATOSHI 教授
Instituto Educacional Sao Joao da Escocia



歯科保存学

再生、接着、審美歯学を総合した歯科治療を目指す

当分野では、歯の硬組織疾患と歯髄疾患の病因・病態を理解し、保存修復治療・歯髄保存療法・歯髄除去療法・歯髄再生療法・審美治療についての知識と技術を学びます。歯科保存領域の治療技術や修復材料の進歩は、生涯にわたり歯を良好な状態に保つことに貢献します。研究面では、生体材料学および分子生物学的なアプローチにより、象牙質や歯髄を再生させる治療法の開発や、審美的修復材料を用いた齲蝕治療法の開発、さらには、近年急増している根面齲蝕や象牙質知覚過敏症などの治療法開発に取り組んでいます。



鈴木 茂樹 教授
京都教育大学附属高等学校



歯周病態学

人材育成、社会に役立つ研究、SoLAを目指した臨床

口の中のバイオフィルム感染症（歯周病と歯内疾患）は、口腔だけでなく全身の臓器に悪影響を及ぼします。私達は、「歯の保存」から「全身の健康」へと、歯周感染の病態や制御方法を教育・研究し、広く医・薬・工・農学の研究者と連携して、学際的に口腔感染を制御します。また、地域の病院でも医科歯科連携医療を展開し、SoLA (Soft-Landing Aging) を目指した臨床・研究を実践して、生涯を支える医療人を育成します。さらに、研究成果の社会実装を目指しています。詳細は、『岡山歯周病態学』で検索！！



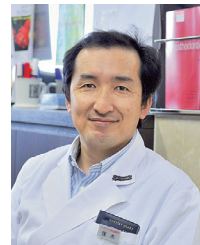
高柴 正悟 教授
広島県立福山誠之館高等学校



インプラント再生補綴学

臨床事実と分子生物学的手法を駆使して新しい歯科補綴学を切り開く

当分野は、インプラント義歯・クラウンブリッジ補綴学の講義、実習を担当しています。補綴学とは、歯や口の中の組織の欠損により喪失、障害した形態と機能の回復を目的とした学問ですが、我々は人工物で欠損回復してきた従来の手法を大きく改革し、バイオエンジニアリングを駆使して歯や口の中の組織再生を誘導する技術を開発すべく努力しています。また、顎関節症・口腔顔面痛、睡眠時無呼吸症候群などに対する先進的な治療法開発や、デジタル技術を統合した高度補綴治療、高齢者の栄養障害の問題解決などにも精力的に取り組んでいます。



窪木 拓男 教授
岡山県立井原高等学校



咬合・有床義歯補綴学

超高齢社会における機能的リハビリテーションを提供する

当分野では、歯の欠損や加齢に伴う咀嚼・発音・審美障害に対して総入れ歯や部分入れ歯を用いて機能回復するための講義と実習を担当しています。教育・診療の基盤となる研究ではバイオエンジニアリング技術を用いた組織再生技術、咬み合わせと脳機能の関係、歯科治療材料や種々の口腔機能に関する研究を行っています。これらの研究に基づいて、超高齢社会における機能的なリハビリテーションを提供すべく、義歯や口腔インプラント、構音障害の治療のほか、顎関節症治療などにも取り組んでいます。



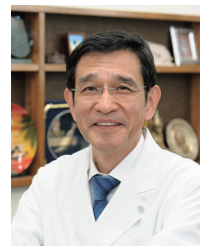
秋山 謙太郎 教授
奈良学園高等学校



歯科矯正学

審美、機能の両面からみた最新の歯科矯正学を学ぼう

矯正歯科治療は歯並びを整えることによる機能的な問題の解決のみならず、患者さんの審美的な問題に対する要求を満たすことを治療目的としています。これを成し遂げるために、当分野では従来の矯正歯科治療はもとより、外科手術を伴う矯正治療や審美性に配慮した装置を用いた治療にDX化を積極的に取り入れることで、患者さんの様々なニーズに応える治療を行っています。また、「口唇裂・口蓋裂総合治療センター」を医科・歯科連携のもと設置し、患者さんの出生直後から成人までの長期間にわたる一貫した総合治療も行っています。



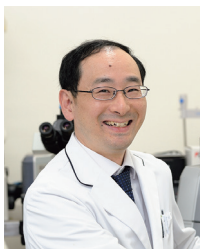
上岡 寛 教授
徳島県立城ノ内高等学校



顎口腔再建外科学

Oral Scienceの探求とそれに基づいた口腔外科医療の実践

口腔は、歯や粘膜、顎骨、筋肉といったさまざまな組織から構成され、これら組織の繊細な協調運動により咀嚼や嚥下、呼吸などの生命を維持する重要な機能が営まれています。これら構成する組織には多くの疾患（先天異常、発育異常、腫瘍、炎症など）が生じ、その治療によっても口腔機能は損なわれることがあります。顎口腔再建外科学は、これら口腔疾患の外科的治療を担い、機能や形態の回復に専門性を置いた診療分野であり、特に、先天異常や顎骨の発育異常に関する臨床・研究を推進しています。



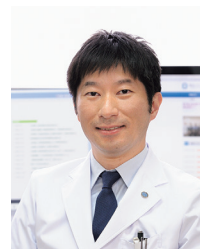
天野 克比古 准教授
愛媛県立松山東高等学校



口腔顎顔面外科学

口腔外科の最後の砦となる

口腔外科の『最後の砦』病院としての責任を果たすためには、口腔外科医として手術技量を高めるだけでなく、新規治療法を研究開発する必要があります。当分野では口腔癌の治療を専門としており、新規口腔癌バイオマーカーの検索や AI を用いた口腔癌の転移予測、顎変形症患者の顔貌の形態学的分析を行っています。また基礎疾患患者の病棟管理や口腔粘膜疾患の診断も経験でき、海外留学、がんセンターへの国内留学、救命救急センター研修など多彩なキャリアプランを用意しています。あなたも口腔外科医としての第一歩を踏み出してみませんか？



伊原木 聰一郎 教授
岡山高等学校



歯科放射線学

画像診断・口腔癌保存治療をテーマに歯科放射線の分野を切り開く

当教室は、歯科放射線学の講義と実習を担当しています。治療に先立ち行われる診断において画像診断は非常に大きな比重を占めます。医用画像機器進歩は目覚ましいものがあり、これらの機器を理解し、活用できるよう指導します。画像診断の他に口腔癌の放射線治療も担当しています。研究では、病変内の経時的血行動態を把握できるダイナミックMRIによって、口腔癌変の非観血的な質的診断能の向上を目指しています。分子イメージングおよび個人識別や AI に関する研究も進めています。



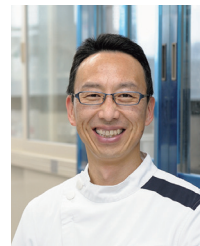
柳 文修 教授
兵庫県立長田高等学校



予防歯科学

Well-beingに寄与する人材育成と健康社会の実現に貢献

目の前にいる患者さんを救うことは当たり前です。さらに大切なことは、予防と公衆衛生の向上です。世界中に活用できる予防法・健康増進対策を一緒に考えてみませんか。講義と実習を通じて、「歯科疾患の予防に何が足りない？」、「健康に及ぼす環境問題は？」、「健康格差を解消するには？」などのトピックスを探究し、Well-beingに寄与する人材の育成を目指します。新しい予防法の研究、社会実装に向けた取り組み、および専門家の輩出も行いながら、健康社会の実現に貢献していきます。



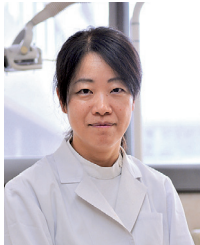
江國 大輔 教授
岡山県立岡山大安寺高等学校



小児歯科学

子どもたちの健全な口腔内環境作りを目指した小児歯科医療

小児歯科学分野では、成長発育に伴い変化する口腔内環境を健全な状態に保つための歯科疾患の予防と治療についての知識と技術を学びます。小児歯科におけるゴールは健全な永久歯列の完成です。乳歯列から永久歯列へと長期間にわたり、むし歯の治療、外傷歯への対応および歯並びに関する咬合誘導を習得します。研究面では、むし歯の原因菌に関する分子生物学的研究を中心に行っています。特に口腔内バイオフィーム（デンタルプラーク）の形成メカニズムの解明に取り組んでいます。



仲野 道代 教授
山口県立宇部高等学校



歯科麻酔・特別支援歯学

支援を必要としている人たちに安全・安心・快適な歯科医療を

超高齢社会です。高血圧、心疾患、糖尿病などの病気を抱った患者様が増えてきました。このような患者様に安全、安心、快適な歯科治療を提供すること、さらに、医療支援を必要としている人たちが、その地域で十分な歯科治療を受けることができるような、成熟した地域医療システムを構築することがますます重要になってきています。当分野は、歯科治療時の「安心」・「安全」・「快適」を科学する歯科麻酔学と「スペシャルニーズ歯科センター」と連携した特別支援歯学を専門とする臨床歯学研究分野です。



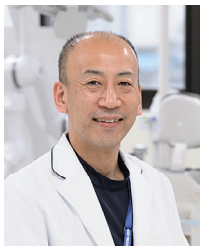
宮脇 卓也 教授
兵庫県立小野高等学校



総合歯科学

プライマリ・ケア歯科医療の発展に寄与する

口腔疾患から全身への影響が目目されるなか、歯科医療の専門性と多様性の両立が求められています。つまり、外来での高度な専門医療のみでなく、地域における救急医療、基礎疾患を有する高齢者への在宅医療、行政やコミュニティとの連携など、分野横断的な問題に対して、総合的診断に基づいた歯科治療が求められています。総合歯科学分野では、地域のプライマリ・ケア歯科医療の発展に寄与するために、診断ツールや新規材料の開発、そして臨床教育に関する研究などを他研究分野と共同して行っています。



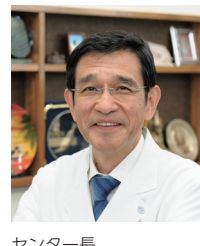
山本 直史 教授
兵庫県立長田高等学校



先端領域研究センター

人新世を生き抜く新たな歯学研究分野を開拓する

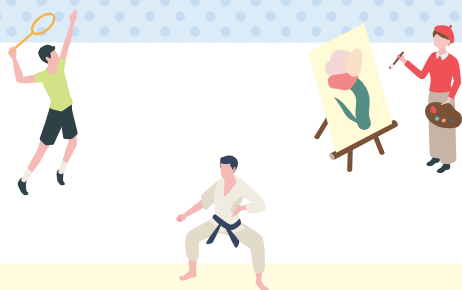
超高齢化は目の前の現実となり、日本で多死・人口減少が進む一方で世界人口は増加が続いています。一方、進行する気候変動によって食糧供給は滞り、2050年には深刻な危機に陥ると予測されています。この危機を乗り越えるため歯学研究者にもすべきことがあります。たとえば近未来では何を、どう食べれば生き残れるのか？ 摂食の中心「口」を科学する歯学に軸足を置きつつ異分野間で共創し、国際協働で地球規模の視点を獲得した新たな歯学研究を展開すれば、その答えも得られるかも知れません。ARCOCSはそれを目指します。



センター長
上岡 寛 教授
徳島県立城ノ内高等学校



サークル紹介



サークル一覧

硬式庭球部	北アルプス三侯診療班	ソフトテニス部	女子バスケットボール部	鹿田自転車同好会
バスケットボール部	美術部	硬式庭球部	鹿田写真部	鹿田手話同好会ふくろうのて
準硬式野球部	鹿田軽音楽部	準硬式野球部	OCSIA	岡山大学鹿田麻雀同好会
サッカー部	医英会	サッカー部	岡山大学ピアノ部. SPF	めどことん
バドミントン部	鹿田茶道部	卓球部	S.F.C	OMSA
剣道部	漕艇部	弓道部	D.M.C	MOVE ! Okayama
弓道部	鹿田水泳部	剣道部	Okayama Save A Life	岡山大学災害支援学生チーム
卓球部	陸上競技部	柔道部	animato	Aegis
グリーン部	バドミントン部	空手道部	岡山大学医学部ラボサークル	
	男子バレーボール部	スキー部	ILOHA	
	男子バスケットボール部	女子バレーボール部	鹿田書道サークル	

津島キャンパスの
サークル紹介はこちらから



歯学部グリーン部

こんにちは！歯学部グリーン部です。私たちは、植物を育てながら癒しの時間を楽しむサークルです。緑が少ない鹿田キャンパスに少しでも癒しをと思い日々活動しています。野菜や花、ハーブなどを自分たちのペースで育てています。忙しい日々の中でも、土に触れる時間はちょっとした息抜きになります。「一生楽しめる趣味を見つけたい」「すき間時間で活動できるサークルを探している」そんな方にぴったりです！自然に触れながら、穏やかな大学生活を一緒に過ごしませんか？

少しでも気になった方は、ぜひ気軽にご参加ください！



歯学部バスケットボール部

週3日、津島の清水記念体育館にて活動している歯学部バスケットボール部です！私たちは夏に開催される「オールデンタル」での勝利を目標に、日々の練習や遠征、練習試合に全力で取り組んでいます。現在、男女プレーヤーおよびマネージャーを募集中！経験者はもちろん、初心者からスタートした部員も第一線で活躍しています。部活動以外でもBBQやスキーといった楽しい行事が多く、他大学の友人も増えます。共に成長し、充実した6年間を過ごしましょう！



歯学部硬式庭球部

歯学部硬式庭球部、通称「歯硬庭」です！男子14人女子8人の22人で週3回（月木：19時～21時、土：9時～12時）活動しています。初心者の方でも無理なく始められるように、週1回から参加できるイレギュラー制度（土曜のみ）もあります！初心者も経験者も大歓迎！大学からテニスを始めた部員も多く、先輩が1から丁寧に教えています。イベント（BBQ、キャンプ、スノボ、クリスマス会）も充実しており、特に毎年8月に行われるオールデンタルは一生の思い出になります。和やかな雰囲気の中で、テニスの上達と仲間との時間を楽しめるサークルです。



歯学部バドミントン部

歯学部バドミントン部は、月・水・土曜日の週3回津島キャンパスの清水記念体育館で活動しています。初心者から経験者まで大歓迎で、実際に多くの部員が大学からスタートしています！基礎から丁寧に練習できるので安心して上達できますし、学年や男女の垣根なく仲が良く、イベントも豊富で楽しい雰囲気が魅力です！夏のオールデンタルに向けて、仲間と切磋琢磨しながら日々練習に取り組んでいます！少しでも興味があれば、ぜひ気軽に見学に来てください！



鹿田剣道部

鹿田剣道部は歯学部と医学部が合同で、毎週火・木・土曜日に武道場で活動しています。練習は短期集中で休みも取りやすく、勉強やバイトなどとの両立がしやすいです。大学から剣道を始めた人も多く、みんな仲良く教え合いながら練習しています。歯学部の大会だけでなく、医学部の大会にも参加するので、様々な大学の人と仲良くなれたり活躍しやすかったりします。経験者はもちろん、初心者・マネージャーも募集しています！気になった方はぜひ見学に来てください！一緒に楽しく充実した大学生活を送りましょう！



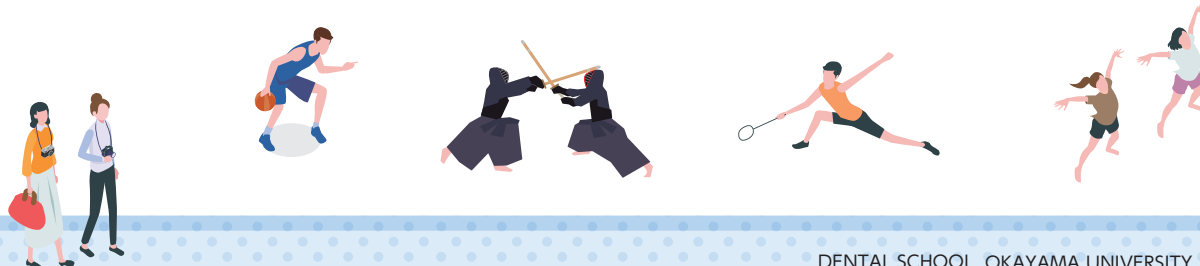
歯学部準硬式野球部

こんにちは！歯学部準硬式野球部です！
週3回（火・木・土）、鹿田キャンパスのグラウンドや球場で活動しています！
初心者・経験者・マネージャー、誰でも大歓迎！
毎年夏のオールデンタルでは初心者も活躍し、準優勝することができました！
学年間の仲が良く、プレイヤーとマネージャーの距離も近い、アットホームな雰囲気が魅力です！
ぜひ一緒に野球を楽しみましょう！



歯学部卓球部

歯学部卓球部は、医学科や保健学科の学生と合同で活動する「医歯薬卓球部」として、学年や学科を超えて仲良く楽しく卓球に励んでいます。現在は歯学部の部員は11名、医歯薬全体では男女23名ずつ、計46名が在籍しており、なかには学士編入の方もいます。活動は週3日ほど平日に行っており、自主練は自由なので、無理なく自分のペースで参加できます。他学部の友達を作りたい人にもぴったりの部活です。部員の半数程度が大学から卓球を始めた初心者なので、未経験でも安心して始められます！経験者も大歓迎です！



わたしの岡大ライフ



1 年次生

充実した岡大ライフを！ Aさんの場合

自宅通学

大学生になり、岡山の自宅から自転車で通学しています。高校と異なり、講義や部活、アルバイトなど一人ひとりの生活リズムが違うため、自分で時間を管理する力が求められます。最初は戸惑うこともありましたが、計画的に行動することで、自由な時間を有効に使えるようになりました。空きコマには友達と勉強したり、カフェで過ごしたりして、忙しくも楽しい時間を過ごしています。また、サークル活動など、新しいことに積極的に挑戦する中で視野が広がり、自分自身の成長を実感しています。大学生生活は多くの出会いと学びにあふれた、かけがえのない時間です。これからも、多くの人と関わり、経験の幅を広げていきたいです。

■ 通学時間／25分（自転車）

■ サークル／あり

収入の部

奨学金	¥0
バイト代	¥17,752
仕送り	¥0
その他	¥4,000

支出の部

家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥4,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥17,752
その他	¥0



2 年次生

一人暮らしも慣れてきた！ Bさんの場合

自宅外通学

1年生の時は週に2回津島キャンパスに行って授業がありました。2年生になると週に1回津島キャンパスに行きます。最初は朝早く起きて、準備して津島キャンパスに行かなくてはならなかったのが大変な時期もありましたが、次第に慣れてきました。洗濯や家事など1年生のころは何をしたらいいのか全く分かりませんでした。毎日繰り返すことで空いた時間を有効活用して取り組むことができるようになりました。

■ 通学時間／10分（自転車）

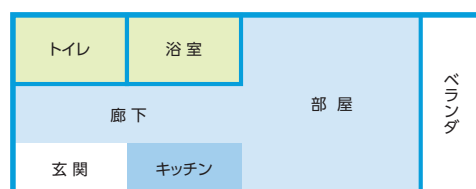
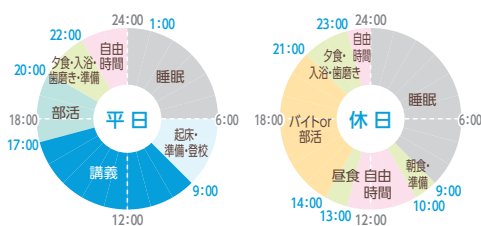
■ サークル／あり

収入の部

奨学金	¥50,000
バイト代	¥50,000
仕送り	¥30,000
その他	¥0

支出の部

家賃	¥40,000
光熱費	¥10,000
食費	¥18,000
通信費	¥2,000
交通費	¥0
貯蓄	¥20,000
その他	¥40,000



3 年次生

忙しいけど充実してます！ Cさんの場合

自宅外通学

歯学部3年生になり、2年生の頃と比べて専門科目が増え、授業内容もより難しくなりました。覚えることも多く大変さを感じますが、歯科医師に必要な知識を学んでいる実感があり、やりがいを持って取り組んでいます。授業後は復習を心がけながら、部活動やアルバイトの時間も確保できています。バドミントン部で体を動かしてリフレッシュし、休日には友人と遊びながら、学業と私生活を両立した充実した毎日を過ごしています。

■ 通学時間／5分（自転車）

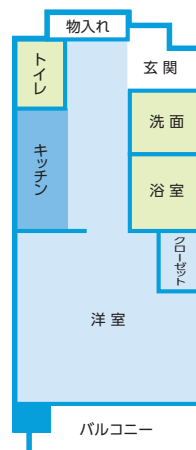
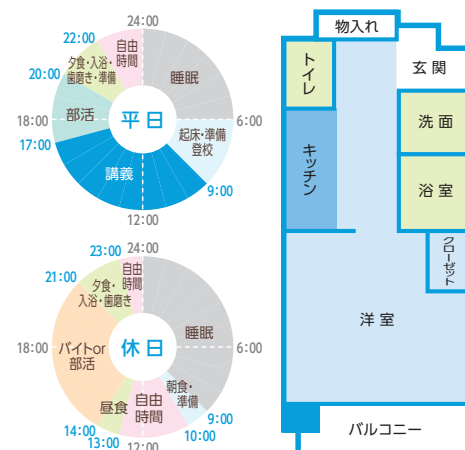
■ サークル／あり

収入の部

奨学金	¥60,000
バイト代	¥80,000
仕送り	¥50,000
その他	¥0

支出の部

家賃	¥50,000
光熱費	¥10,000
食費	¥30,000
通信費	¥3,000
交通費	¥0
貯蓄	¥27,000
その他	¥70,000





4 年次生

本格的に臨床科目がスタートします Dさんの場合

自宅外通学

4年生になり、1限目から夕方まで授業がある日が増えました。課題や自習の時間も取る必要があり、忙しい日々が続きますが、臨床科目も始まり、基礎から臨床へと学びがつながる実感を得ています。テストの数も3年生までとは異なり、かなり多くなってくるので、復習や課題に必要な時間もかなり多くなります。休日はアルバイトや友人と時間を過ごすなどし、リフレッシュしながらメリハリのある生活を送っています。

■ 通学時間／5分（徒歩）

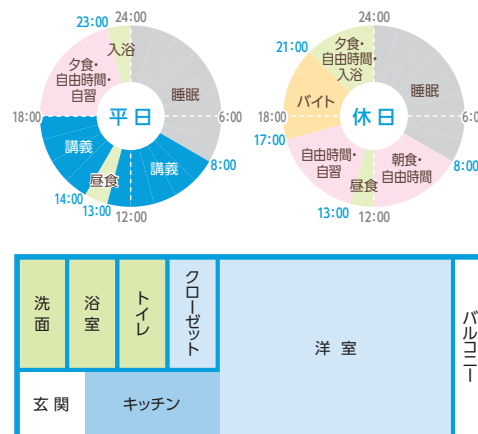
■ サークル／あり

収入の部

奨学金	¥0
バイト代	¥30,000
仕送り	¥100,000
その他	¥0

支出の部

家賃	¥60,000
光熱費	¥8,000
食費	¥20,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥22,000
その他	¥20,000



5 年次生

忙しくも楽しい日々 Eさんの場合

自宅外通学

5年生となり、大学生生活も残り2年となりました。低学年の頃と比べて学ぶ内容や量も大きく変化し、より専門的で充実した日々を送っています。平日は空きコマも少なく、講義や課題、アルバイト、部活動に追われ、気づけばあっという間に週末を迎えます。忙しさの中にもやりがいを感じつつ、休日には部活動や友人との時間を大切に、心身ともにリフレッシュしながら有意義に過ごしています。

■ 通学時間／5分（自転車）

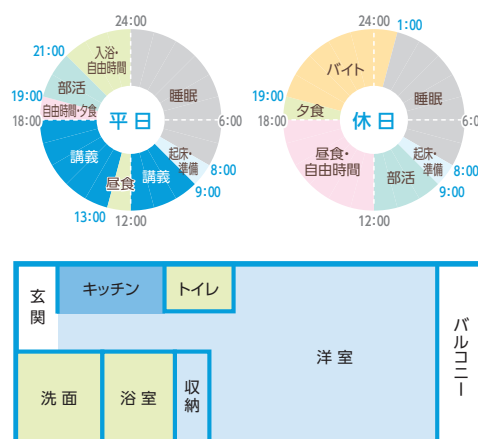
■ サークル／あり

収入の部

奨学金	¥70,000
バイト代	¥30,000
仕送り	¥67,000
その他	¥0

支出の部

家賃	¥67,000
光熱費	¥10,000
食費	¥40,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥20,000
その他	¥30,000



6 年次生

息切れしないための生活リズム Fさんの場合

自宅通学

臨床実習が始まってから半年が経ち、少しずつ忙しさにも慣れてきました。平日は、患者さんの診療以外の時間はほぼ全ての時間を診療レポートの作成や診療内容の確認、調べものなどの準備や振り返りのために使っています。空いた時間で国家試験の勉強を行うため、日々の診療と関連させてより効果的な学習ができるように意識しています。また、私は平日、休日含めて食事と睡眠のリズムを極力崩さないようにすることで身体的、精神的な不調を防ぎ、臨床実習、学習を継続させることを一番の目標として生活しています。どうしても疲れから弱音を吐きそうなときは、友人を頼り気持ちをリセットしています。

■ 通学時間／1時間30分（バス）

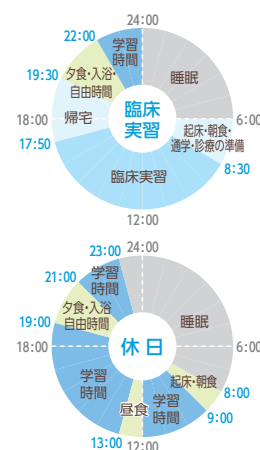
■ サークル／なし

収入の部

奨学金	¥0
バイト代	¥0
仕送り	¥0
その他	¥30,000

支出の部

家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥0
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥30,000
その他	¥0



キャンパス紹介

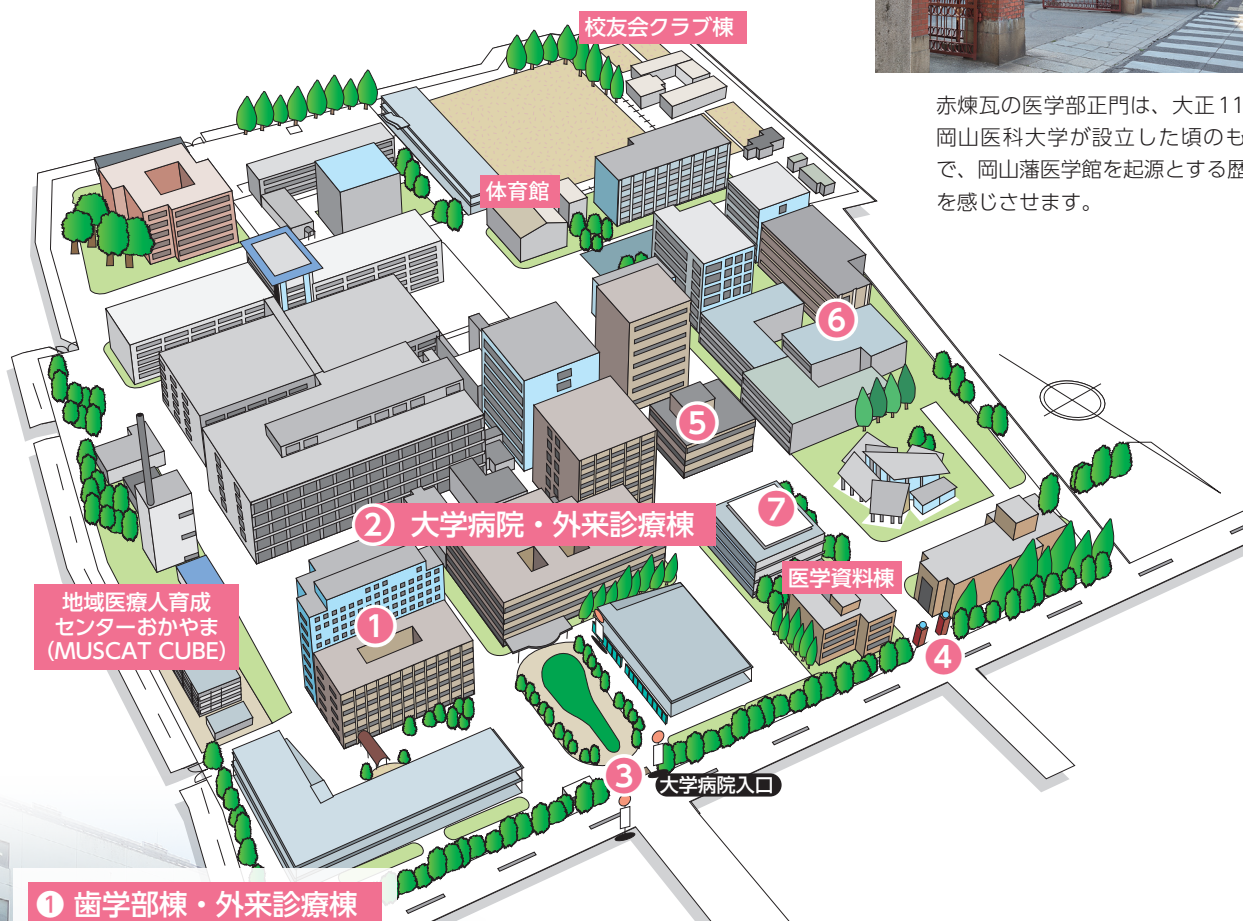
鹿田キャンパス

SHIKATA CAMPUS

鹿田キャンパスは、歯学部、医学部および薬学部の一部からなる医療系キャンパスです。

明治3年（1870）岡山藩医学館に始まる歴史あるキャンパスで、大正時代の赤れんがの医学部正門など、当時を思わせる建築物も多く点在しています。

岡山市中心部にあり、交通の便もよく周囲には大型スーパーや飲食店などもたくさんあり、生活しやすい立地です。



① 歯学部棟・外来診療棟

この建物では歯学部の授業が行われる他、岡山大学病院・歯科の外来診療棟を兼ねており、1日平均500人以上の患者さんが診療に訪れます。

③ 歯学部・岡山大学病院正門

患者様を含めて、とても多くの人が入り出する門です。構内へのバスも通ります。



赤煉瓦の医学部正門は、大正11年岡山医科大学が設立した頃のもので、岡山藩医学館を起源とする歴史を感じさせます。



▲交通アクセス



鹿田キャンパスも津島キャンパスも、キャンパス敷地内は建物内外を問わず全面禁煙です。

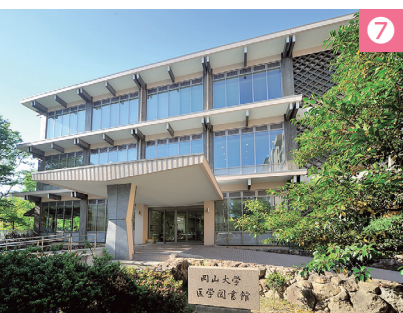


⑤ 記念会館

記念会館には、食堂や大学生協のコジカショップ、保健管理センター（鹿田室）等が入っています。コジカショップでは、医歯学系の専門書やパソコン用品もあります。

⑥ 医歯薬融合型教育研究棟

法医学解剖関係施設、共同実験室、医歯薬各分野の研究室・演習室やチーム医療シミュレーション教育、臨床能力のスキルアップのための設備を整備した医療教育統合開発センター等が入る医・歯・薬学の専門知識を集結した学際的研究・教育施設です。（生体材料学分野が配置されています。）



⑦ 図書館鹿田分館

中央、鹿田分館合わせて200万冊を超える図書と4万種の雑誌、様々な電子資料及び映像音響資料を所蔵。情報化、国際化、生涯学習に対応した開かれた大学図書館としてサービスを提供しています。新装後はカフェテラスも設置され、ますます利用しやすくなりました。



① 一般教育棟

医学部・歯学部・歯学部学生も全学共通科目等はこちらで受講することになります。学生支援センターや国際センターなどもこの建物の中にあります。



② 大学会館

喫茶コーナーやラウンジ、カフェの他、課外活動施設にはホールや各種集会所があり、サークル活動等に活用されています。

津島地区にある福利厚生施設で、生協のレストランやカフェの他、コンビニやブックストアが入っています。

③ マスカットユニオン



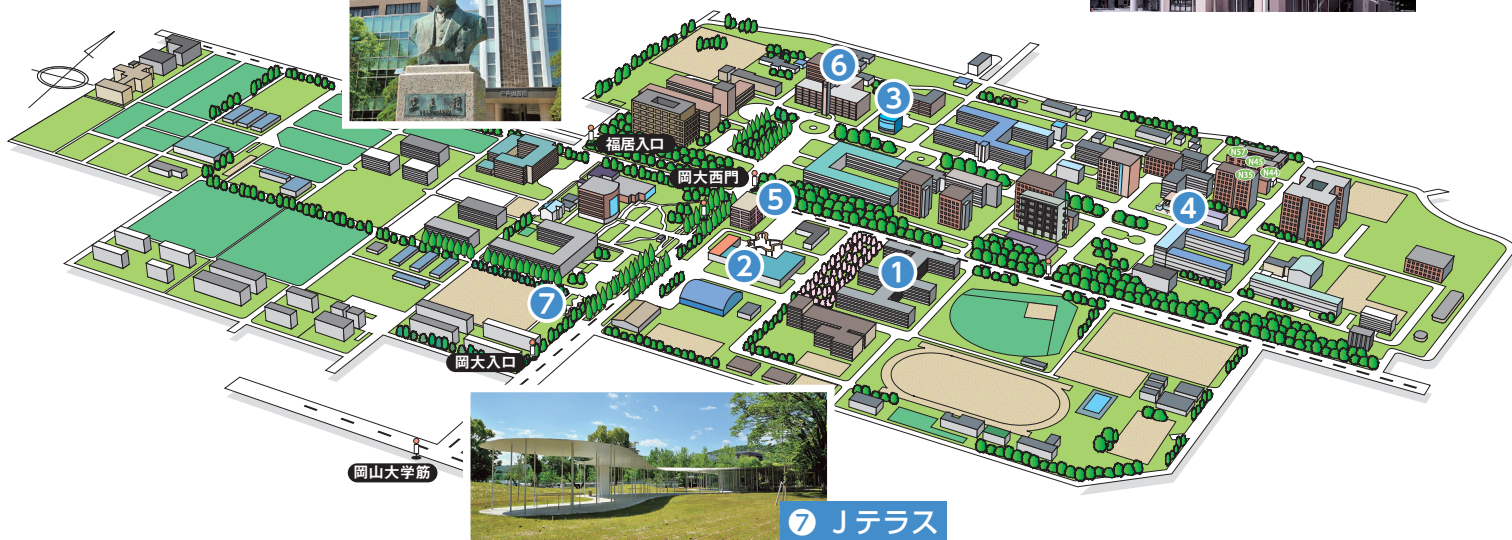
④ ピオーネユニオン



⑤ ピーチユニオン



⑥ 時計台



⑦ Jテラス



津島キャンパス

津島キャンパスは、JR岡山駅から北に約2.5km、岡山市街地に総面積635,308㎡の自然豊かな広大な敷地に、8学部と研究施設、中央図書館、テニスコート・野球場・陸上競技場等の体育施設、食堂・カフェテリア・コンビニ等の生協施設などが整備されています。

大学へのメインストリートの南北道路（岡山大学筋）は、中央図書館の時計台を正面に、左右のいちょうの並木道が岡山大学へと誘ってくれます。

TSUSHIMA CAMPUS

病院紹介



高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる

岡山大学病院 [歯科]



歯科系代表副院長
窪木 拓男 教授
岡山県立井原高等学校

“高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる”は、岡山大学病院の理念です。岡山の土地柄にとっても合っています。

岡山大学病院は、医学部の附属病院として150年にわたる歴史と伝統を有している国内屈指の大学病院です。中国・四国地区で唯一の臨床研究中核病院に選定されており、全国的にも有数の先進的医療の要となっています。歯科系におきましても中国・四国を中心に多くの関連病院があり、広く医療に貢献しています。

岡山大学病院の中で歯科系は、4診療科の中に12の専門診療部門と、スペシャルニーズ歯科センターおよび医療支援歯科治療部など、歯科特有の中央施設また医科と連携したセンターがあります。さらに、専門外来が12あり、全国でも有数の充実した診療体制を整えています。特に、病院が医科と歯科が統合している利点を活かし、教育、研究、および診療の分野で医科との連携が非常に強くなっており、それが岡山大学歯学部の特徴のひとつになっています。

このような充実した診療体制のある病院で、歯学部の学生の皆さんは1年次に早速、“早期見学実習”という科目で、臨床の現場に触れながら勉強することができます。5～6年次には、“診療参加型臨床実習”という科目で、教員の指導のもと“Student Dentist”として患者さんと接しながら、歯科医師になるのに必要な実践力を習得します。岡山大学ではこの臨床教育に力を入れており、この中では“在宅介護歯科医療実習”もあり、社会の高齢化の進展に対応できる臨床能力を涵養するためのカリキュラムが組まれています。卒業後の卒業研修体制も岡山大学病院は大変充実しており、多くの学生がそのまま岡山大学に残って研修をしています。

岡山大学で実践力を身に付け、高度な技術を学び、そして医科とも連携できる優れた歯科医師となって、社会に貢献しましょう！

診療科等案内

歯科

総合歯科部門
保存歯科部門
歯周科部門
口腔インプラント科部門
補綴歯科部門
予防歯科部門
歯科放射線科部門
歯科麻酔科部門

口腔外科

顎口腔再建外科部門
口腔顎顔面外科部門

矯正歯科

小児歯科

スペシャルニーズ歯科センター

特別支援歯科部門
摂食・嚥下リハビリテーション部門

卒後臨床研修センター[歯科研修部門]

医療支援歯科治療部

高度医療支援歯科部門
周術期管理歯科部門

歯科総合診断室[予診室]

歯科地域医療支援室

専門外来

顎関節症・口腔顔面痛み外来
審美歯科外来
特殊義歯外来
スポーツ歯科外来
顎顔面補綴外来
口のかわき・味覚外来
歯科金属アレルギー外来
口臭外来
口腔がん外来
夢の会話プロジェクト外来
母と子の歯科外来

診療科連携部門[センター]

小児頭蓋顔面形成センター
頭頸部がんセンター
小児医療センター
口腔検査・診断センター
成人先天性心疾患センター
口唇裂・口蓋裂総合治療センター
侵襲性歯周炎センター
デンタルインプラントセンター
お口の健康管理センター





地域の障害児者、高齢者の口腔のQOL向上に貢献



江草 正彦 スペシャルニーズ歯科センター センター長・教授
[岡山県立岡山大安寺高等学校]

スペシャルニーズ歯科センターは、身体的、精神的、そして心理的に種々の障害や疾患のある歯科的に「特別に支援の必要な人」に対して、キュア・ケア・リハビリテーションを医療・保健・福祉などの他の領域とも連携して行っています。また、地域で生活する乳幼児から高齢者まで、多くの人達に対するシームレスケアの実現に向けたシステム作りをめざしています。

当センターには、特別支援歯科治療部門（障害児者歯科治療）と摂食・嚥下リハビリテーション部門があります。特別支援歯科治療部門では、歯科麻酔科との連携によって、中四国地方では数少ない全身麻酔・静脈内鎮静法などの障害者の歯科治療を行っています。また、自閉症関連では世界的に有名な TEACCH プログラムによる行動療法なども実践しています。

また摂食・嚥下リハビリテーション部門では、医科からの紹介患者（乳幼児から高齢者まで）も多数で、医科歯科連携の要の一つになっています。家庭や学校で家族や友達と一緒に食事を食べたい、自分の口から美味しさを味わいながら食べたいと、摂食・嚥下機能に障害のある誰もが望んでいます。当部門では、障害のある人を中心とした口腔領域の医療・保健とその家族を含めた食生活の支援も行っています。



▲摂食・嚥下リハビリテーション



▲外来での全身麻酔下歯科治療

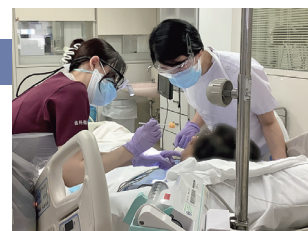
医療支援歯科治療部の紹介



曽我 賢彦 医療支援歯科治療部 部長・准教授
[滋賀県立彦根東高等学校]

歯科医師の専門性は、病院医療の意外なところで驚くほど役に立ちます。岡山大学病院では高度な医療が日々展開されています。その中には、口の中の適切な管理が不可欠なものが少なくありません。臓器移植医療に伴う免疫抑制状態や、がん治療（とりわけ白血病等の血液悪性疾患）そして心臓血管外科の手術などでは、口の中の感染対策や経口栄養摂取のサポートが極めて重要です。私たちは、本院で行われる高度な医療を歯科の専門性からサポートする医科歯科連携の拠点として、歯科系の多くの科の応援歯科医師や歯科衛生士等とともに活動を展開しています。広い見識をもった医療人を育成するため、この医療連携の場を学生の間から積極的に知ってもらい、若い豊かな感性に何か良い影響を与えることができればと考えています。

医療現場の一線で活躍する医師などのスタッフと歯科医師が協働する姿を目の当たりにし、歯科医師が医療を構成する一員であることを身を持って感じるができると思います。楽しいですよ！



▲ICUでの口腔ケア



交通アクセス



岡山駅までJR利用

- 新大阪から新幹線で約47分
- 神戸から新幹線で約31分
- 広島から新幹線で約34分
- 高松からJRで約1時間

岡山駅から

- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナルから「12」「22」「52」「62」「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バス「大学病院」行きが構内に入ります(地図内.....線)他・岡電バス
- 岡山駅前から循環バスで「大学病院入口」下車
- 岡山駅前タクシー乗り場からタクシーで約10分
- 岡山駅前から「清輝橋」行き路面電車で12分「清輝橋」下車、西へ徒歩5～10分

岡山桃太郎空港から

- 「岡山市内方面」行バスに乗り、「岡山駅」で下車、岡山駅からは上記交通機関を利用

岡山まで山陽自動車道利用

- 岡山ICで降り岡山市内方面へ、または、早島ICを降り岡山市内方面へ



岡山大学 歯学部

〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1

お問合せ窓口：岡山大学医療系事務部 学務課教務グループ(歯学部担当)

Tel.086-235-6627 Fax.086-235-7564

E-mail mag6627@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学歯学部広報委員会編集

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

岡山大学歯学部

検索

